

学校教育目標	めざす子どもの姿（中期的目標）				総合評価				
かしこく やさしく たくましく	1 自ら課題を持ち解決に向けて、友や地域とかかわり合いながら主体的に学ぶ子ども 2 お互いの「良さ」を認め合い、相手の立場を理解して、物事を判断する子ども 3 活動の楽しさを味わいながら心身を鍛える子ども				日頃の児童の様子を見てみると、先生方の努力がわかる。「考えることを楽しめる」という気持ちは一生を通して持ち続けたいことで、言いスローガンだと思う。				
	今年度の重点目標				A	B	C	D	学校関係評価者による意見
	考えることを 楽しめる 子ども	①	かかわり合いのある「主体的・対話的」な授業の実施（学力向上）		○				各学級、それぞれ違う取り組みを工夫されていた。子どもが主体的に取り組んでいる結果だなと感じられる授業が見受けられ素晴らしかったが、中にはそう感じられない授業もあった。子どもが本当に楽しめている授業なのかをふり返りながら、今後も更に工夫して行って欲しい。
		②	互いの「良さ」をわかり合える学級・学年づくり（やさしい学校）		○				子どもたちが素直で、ハツラツとした様子を見せている児童が多い。子どもたちの表現は、授業中の形態についても変わってくる。「安心して表現できる」授業が、「安心して学校に来られる」ことにつながるので、この方向を更に進めて欲しい。
③		目当てを持って運動や活動に取り組む集団づくり(健康で安心・安全な学校)		○				丈夫な体作りに今後も力を入れて行って欲しい。清掃への意識を更に持たせて欲しい。	

領域	対象	評価項目	評価の観点	A	B	C	D	学校関係評価者による意見
教育課程		① 各教科における表現活動の充実	各教科・総合的な学習の時間の学習場面で、自分の考えを表したり、他者の考えを受け止めたりして自分の考えを深めることができたか。	○				考えの発表に、先生方も力を入れているのが伝わってきた。英語のボランティアで入っている授業では、子どもたちは素直にのびのびと表現している姿が見られる。発表時、小さな紙を持って読むクラス、子どもがいたが、少量の場合は、スラスラでなくても、読まずに発表する習慣がつけられればと思う。
		② 道徳教育・人権教育の充実	自分の考えをもち、自分とは異なった考えを持つ相手の立場にたった言動ができるようになったか。	○				友達が全て自分と同じ考えではないこと、自分の意見と違っても、相手の立場や考え方を尊重できるように指導をしていてもらいたい。
		③ 心と体を育む場作り	目当てをもって行動するとともに、自分の行動を振り返り、次の行動へのめあてをもつことができていくか。	○				丈夫な体作りに力を入れたい。授業時間の確保など、大変に厳しい中だとは思いますが、野外教育等を大事にして行って欲しい。
教育活動	学習指導	④ 読む活動の充実	朝読書、読み聞かせ、図書館の時間などの読書活動を教師の積極的なかかわりによって充実させているか。	○				「こんぺいとうの会」で話していて、聞く姿勢はよくなってきていると思う。「聞く」から「読書」へのつながりが難しい。特に、中学年男児向けの本が少ないのがネックだと感じている。学校で読み聞かせ等を工夫されているが、日常的に読書をするようになるには、家での読書も大切かと思う。スマホ、パソコン時代に、読書を定着させていくのはなかなか難しい。
		⑤ 授業の充実	考える活動、表現する活動を意識した授業に取り組み、主体的・対話的な学習が活発に展開されているか。	○				大きな声で話すことは、自分に自信があることの表れだと思うので、その練習も必要かと思う。パソコン等を使っての授業や発表の充実を楽しく見させてもらった。自分たちで考えて発表したことがよくわかった。学級によっては、子どもたちの主体性の面で疑問を感じた授業場面もあった。
		⑥ 家庭学習の充実	基礎の定着及び学習への意欲を高める家庭学習が位置づけられているか。	○				宿題を出す先生と出さない先生はどのくらいの比率なのか。それによって家庭学習の時間の相違はあるのか。学習の理解度の差があると思うが、わからない児童への手助け（放課後の地域のサポート）等があるとよいと思う。
生徒指導		⑦ 基本的生活習慣の充実	自分からするあいさつ、「～くん、～さん」の友の呼び方、靴のかかとそろえ、時間のけじめなどの基本的習慣が日常的に身につくような指導がされていたか。	○				中学生になっても、道で会うとあいさつをしてくれる。指導というか、良い習慣が定着していると思う。その反面、校内においては、子どもたちから挨拶されることがあまりなかったように思う。自然なあいさつができるようになるとうい。
		⑧ 自他を大切にす気持ちの醸成	学校生活全般で相手を意識させ、互いの気持ちを考えたり、相手に寄り添った行動がとれたりする場面を日常的に取り入れることができたか。	○				PTAバザーでのバザー品の回収の際に、各家庭にうかがったときの挨拶等を大事にさせたい。料理クラブでは、楽しく仲間と活動に取り組む姿が見られた。
学校運営	地域との連携	⑨ 地域に根ざした学習の充実	地域の自然・人材・文化財から学ぶ学習を仕組み、豊かな体験を通して人や物との関わりを学ぶ学習をすすめることができたか。	○				地域性から、学習は充実しているように思う。豊かな塩田の自然に生まれ、のびのびとした素直な子どもたちが多いと感じます。
		⑩ 情報の発信と連携	学校公開、学校・学年・学級便りなどを通して児童の様子や学校の願いを伝え、保護者・地域との連携に努めているか。	○				学校だよりの充実と地域への回覧ありがたい。
		⑪ 授業の改善	明確な自己課題を持ち、その解決のために授業公開や各種研修に積極的に関わり自己研修に努めているか。	○				わからない授業に参加している児童は苦痛だと思うので、なるべく楽しいと思えるような授業づくりに励んで欲しい。